



## 第 2 回「経営者の志と倫理」実態調査（要旨）

### 財団法人 日本生産性本部

(財)日本生産性本部（理事長 谷口 恒明、2009 年 4 月に(財)社会経済生産性本部から改称）が 2006 年 7 月に設立した「経営の志を高め倫理を推進する国民会議（志・倫理推進会議：共同委員長 全日空(株)会長 大橋 洋治、連合会長 高木 剛、(財)機械産業記念事業財団会長 福川 伸次）」では、2007 年 7 月に、わが国の経営者層が倫理的な判断に迷う「経営課題」を抽出し、これをめぐるガバナンスとマネジメントの動向に関する現状を把握する目的で「経営者の志と倫理」実態調査を実施しました。

今回その後の「経営者の志と倫理」の変化を把握する目的で、第 2 回「経営者の志と倫理」実態調査を実施し、集計分析を行いました。つきましては、別紙の通り本調査の結果に関する要旨をご報告いたします。本調査の要旨を経営者と志・倫理の関係を明確にしていくための情報として、ご活用頂ければ幸甚に存じます。

#### ◆調査方法

1. 社外取締役機能は重視の傾向。
2. コーポレートガバナンス原則の作成・開示が進む。
3. 経営者が企業経営において重点を置いているものは「収益」「顧客」「従業員」。「従業員」を重視する企業が増加。
4. 年に 1 回以上倫理教育を行っている企業が増加。非正規社員向けは低割合変わらず。
5. ヘルプラインの設置増加、従業員への定着度も増加。
6. 国内で提供しているサービスや商品の安全基準は「法令レベル」を志向。

(1) 調査対象：全上場・公開企業、当本部賛助会員 (2) 有効回答数：204 通

#### ◆添付書類

本調査結果要旨（本紙を含み 6 枚）、調査票（12 枚）、調査集計結果（14 枚）

【参考】2008 年度企業倫理に反する主な事例（1 枚） 計 33 枚

【お問合せ先】 財団法人 日本生産性本部 経営開発部

担当：桶川、三浦 TEL. 03-3409-1118 FAX. 03-5485-7750

# 第2回「経営者の志と倫理」実態調査 要旨

## 1. 社外取締役機能は重視の傾向。

社外取締役機能について質問したところ、「取り入れるべき」という回答が増加し、前回調査は意見が分かれたが、今回調査では肯定意見が増加し、社外取締役機能を重視している傾向が明らかになった。

①社外取締役機能について質問したところ、

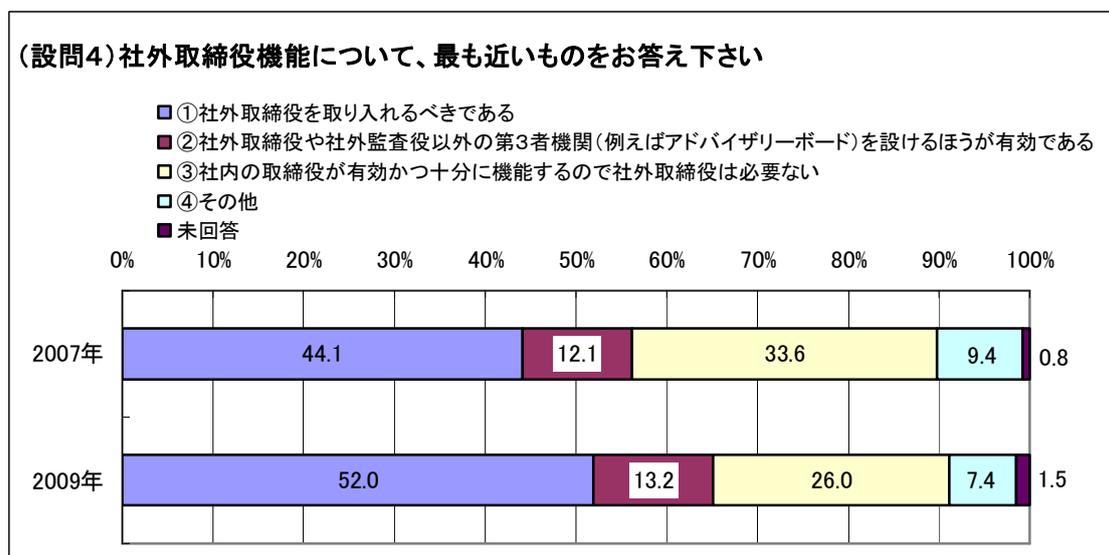
「社外取締役を取り入れるべき」 52.0% (前回比+7.9%)

「社外取締役や社外監査役以外の第3者機関(例えばアドバイザリーボード)を設ける方が有効である」 13.2% (前回比+1.1%)

「社内の取締役が有効かつ十分に機能するので社外取締役は必要ない」 26.0% (前回比▲7.6%)

という回答になり、前回調査と比較して肯定的意見が増加した。〈図1〉

<図1>



## 2. コーポレートガバナンス原則の作成・開示も進む。

コーポレートガバナンス原則について質問したところ、前回調査と比較して作成・開示が進んでいる結果となった。

① コーポレートガバナンス原則について質問したところ、

「作成し、開示している」 76.0% (前回比+13.9%)

「作成しているが、開示していない」 10.8% (前回比▲2.1%)

「作成していないが、暗黙の了解となっている」 7.8% (前回比▲4.7%)

「作成していない」 4.9% (前回比▲6.8%)

という回答になり、前回調査と比較して作成・開示が進んだ。〈図2〉

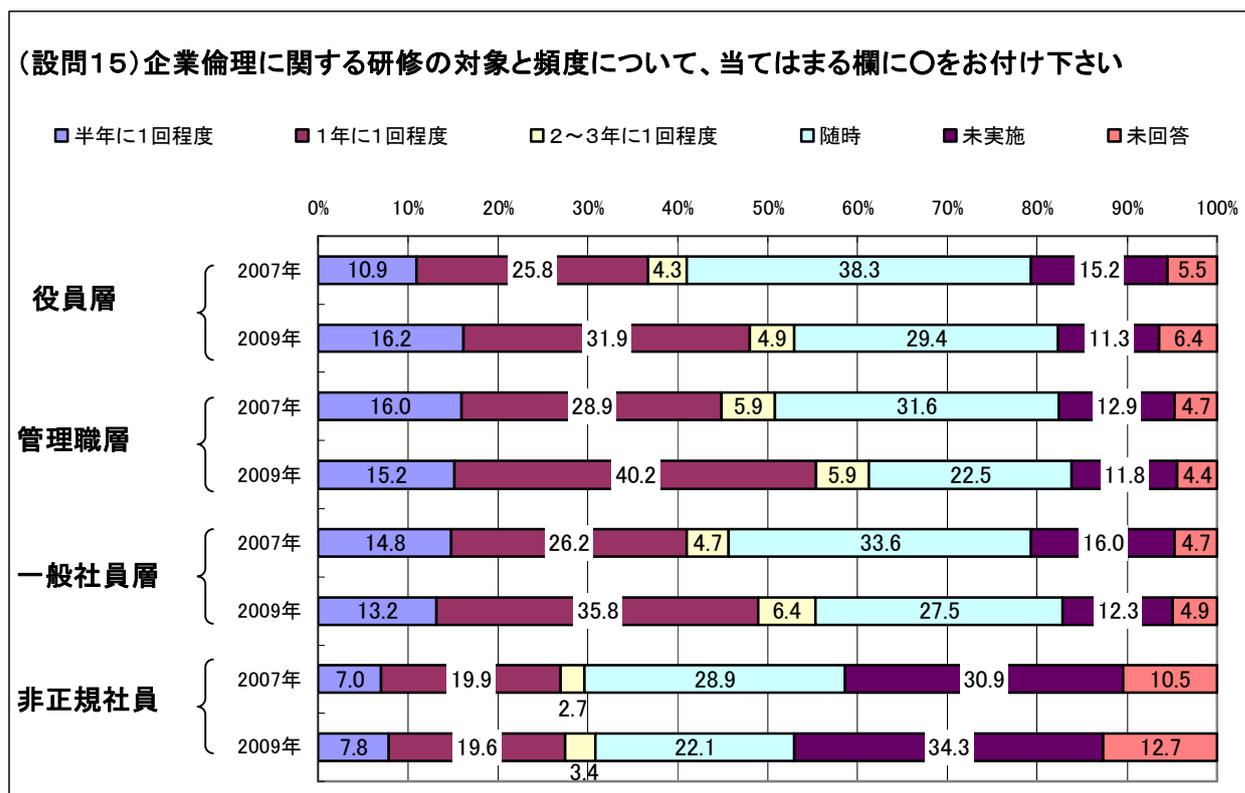


#### 4. 年に1回以上倫理教育を行っている企業が増加。非正規社員向けには課題。

企業倫理に関する研修の対象と頻度について質問したところ、役員層、管理職層、一般社員層については研修頻度が前回調査と比較して増加した。しかし、非正規社員については大きな変化は見られなかった。〈図4〉

- ①役員層については48.1%が年に1回以上実施していると回答した。(前回比+11.4%)
- ②管理職層については55.4%が年に1回以上実施していると回答した。(前回比+10.5%)
- ③一般社員層については49.0%が年に1回以上実施していると回答した。(前回比+8.0%)
- ④非正規社員については27.4%が年に1回以上実施していると回答した。(前回比+0.5%)

〈図4〉



#### 5. ヘルプラインの設置増加、従業員への定着度も増加。

社内ヘルプライン体制についての質問、及び社内ヘルプラインの現状について質問したところ、「設置している」という回答、及び「従業員に定着している」「従業員に定着しつつある」という回答が増加しており、ヘルプラインの体制整備と従業員へ定着が進んでいる。

- ①社内ヘルプラインの組織体制について質問したところ、
  - 「社内の部署で組織化している」 41.2% (前回比+1.0%)
  - 「法律事務所や専門機関など第3者機関に委託している」 10.3% (前回比+3.3%)
  - 「社内部署と第3者機関で組織化している」 39.2% (前回比+7.2%)
 という回答となり、「設置している企業」が90.2%という結果になった。  
 (前回比+11.5%) 〈図5〉

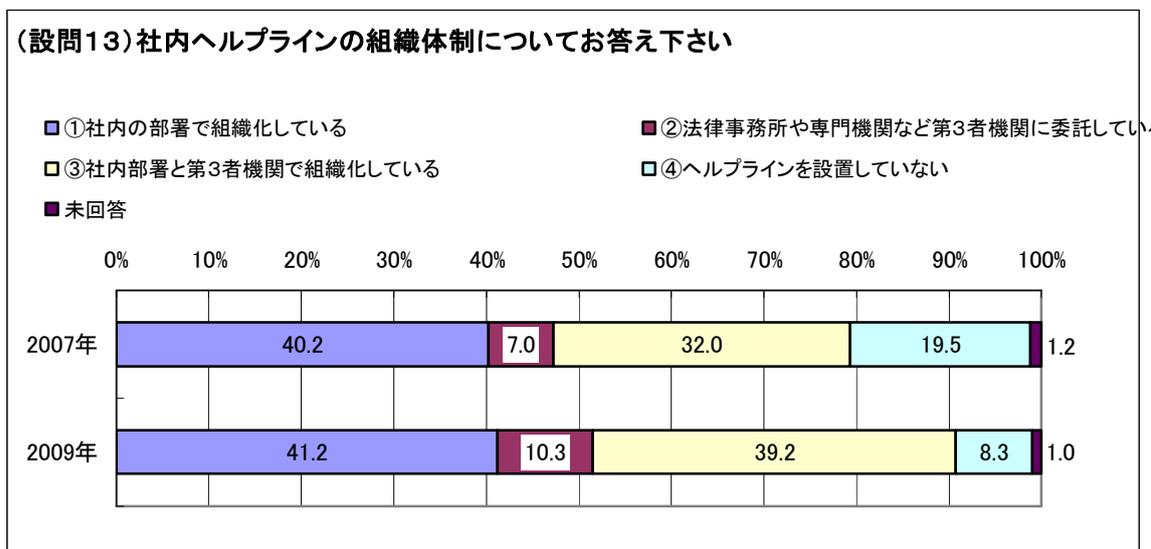
②社内ヘルプラインの現状について質問したところ、

「定着している」 28.9% (前回比+11.7%)

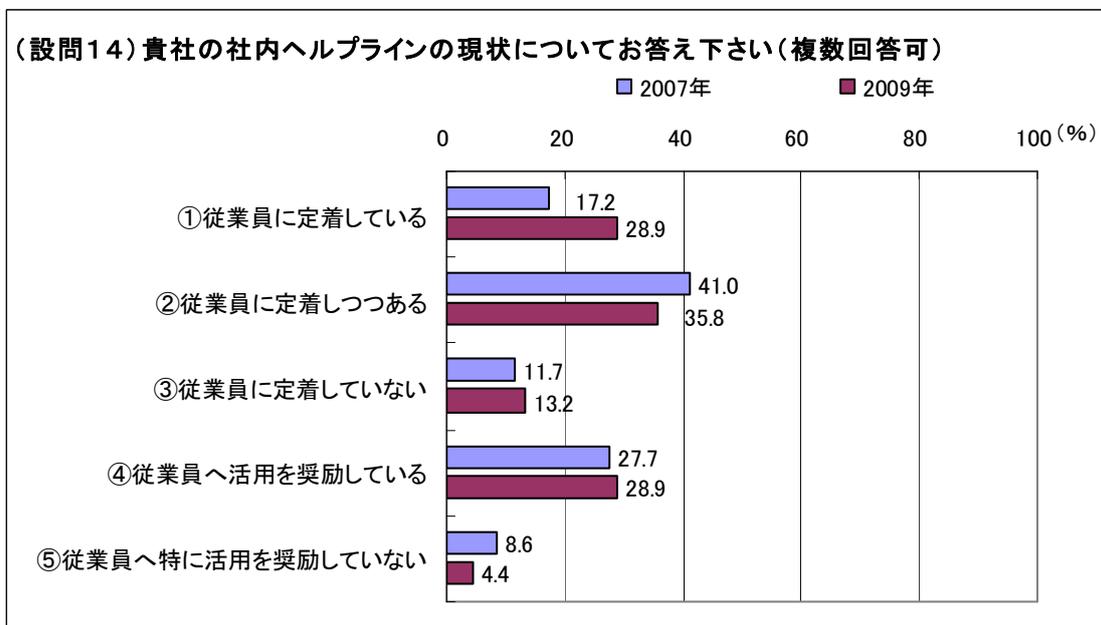
「定着しつつある」 35.8% (前回比▲5.2%)

という回答となり、従業員への定着が進んでいる企業が 64.7%という結果になった。(前回比+6.5%) <図 6>

<図 5>



<図 6>



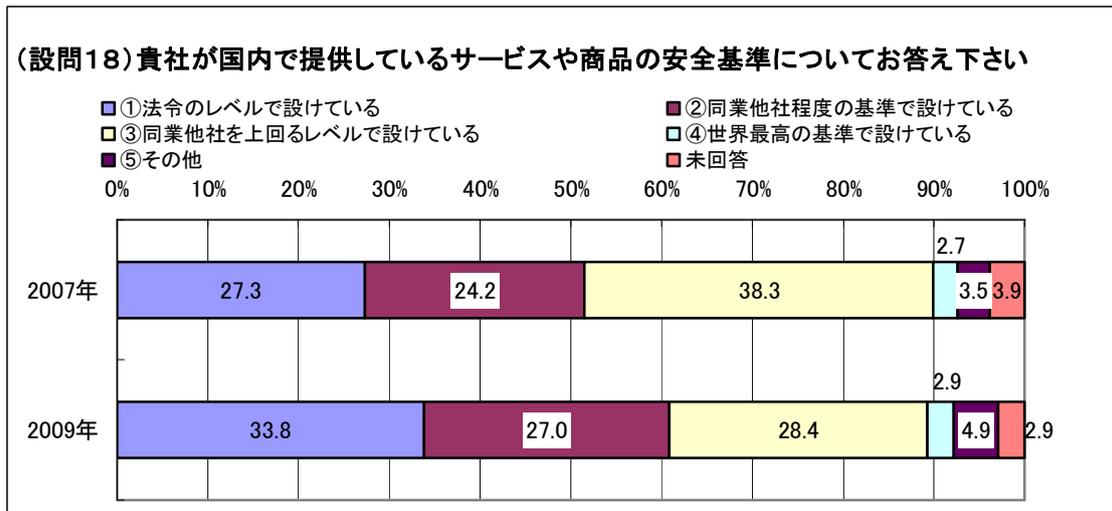
## 6. 国内で提供しているサービスや商品の安全基準に変化。

国内で提供しているサービスや商品の安全基準について質問したところ、前回調査で第2位だった「法令レベル」が前回比6.5%上昇し、第1位となった。また前回調査で第1位だった「同業他社を上回るレベル」が前回比9.9%減少し、第2位になった。〈図7〉

第1位「法令レベル」33.8%（前回比+6.5%）

第2位「同業他社を上回るレベル」28.4%（前回比▲9.9%）

〈図7〉



## 【調査票】

# 第2回「経営者の志と倫理」実態調査

### 1. 調査の目的

経営の志を高め倫理を推進する国民会議では、経営者の方々が「良心と利益のジレンマ」に陥り易いものなど、倫理的な判断に迷う「経営課題」を抽出し、これをめぐるガバナンスとマネジメントの動向について現状を把握する目的で2007年5月に第1回調査を実施しました。

今回は第1回調査からの変化を把握する目的で調査を実施いたします。

※ガバナンスとしての課題：仕組みや経営者のリーダーシップなど

※マネジメントとしての課題：個別具体的な課題について経営者がどのように考えて、意思決定を行っているのか

### 2. 経営の志を高め倫理を推進する国民会議について

わが国産業界を中心に組織倫理の向上を推進するために、有識者の議論や実態調査などを通じ、経営の目指すべき方向、企業倫理のあり方、さらに社会のルール改善などのための提言を行い、「信頼と公正」を基礎とした社会を実現することを目的として日本生産性本部が2006年7月に設立いたしました。

### 3. 調査の取り扱い

- 1) 本調査は、上記目的のもと、調査対象企業全体の現状や傾向を統計的に分析するもので、個別企業の評価や格付け等を行うものではありません。
- 2) 本調査は、ご回答いただいた結果を集計してレポートを作成し、公表させていただきます。なお、調査結果の返送に際して、ご連絡先等を頂戴した組織へは、レポートを個別に進呈させていただきます。

4. ご提出期限：2009年3月6日（金）までにご返送下さい。

財団法人日本生産性本部  
経営の志を高め倫理を推進する国民会議

<フェース>御社のプロフィールについて伺います。該当のものに○印をお願いします。

①業種	(1) 水産・農林 (2) 鉱業 (3) 建設 (4) 食品 (5) 繊維 (6) パルプ・紙 (7) 化学 (8) 石油・石炭製品 (9) ゴム製品 (10) 窯業 (11) 鉄鋼 (12) 非鉄金属 (13) 金属製品 (14) 機械 (15) 電気機器 (16) 輸送用機器 (17) 精密機器 (18) その他製造 (19) 商業 (20) 金融・保険 (21) 不動産 (22) 陸運 (23) 海運 (24) 空運 (25) 倉庫・運輸関連 (26) 情報・通信 (27) 電力・ガス (28) サービス
②株式上場	(1) 上場 (2) 店頭公開 (3) ジャスダック等 (4) 非上場
③資本金	(1) 1億円以下 (2) 1億円超5億円未満 (3) 5億円以上
④従業員規模 (単体)	(1) 300人未満 (2) 300～600人 (3) 601人～1000人 (4) 1001人～2000人 (5) 2001人～3000人 (6) 3001人以上 (連結： 人)

<回答に当たっての注意>

<p>1. 該当する項目の数字に○印をつけてください。(選択数に指定がない場合は、原則として1つだけ選択して下さい)</p> <p>2. 7スケールの基準については以下を目安としてください。</p> <div style="text-align: center;"> <table style="margin: auto;"> <tr> <td>100%</td> <td>99～75%</td> <td>75～51%</td> <td>50%</td> <td>49～25%</td> <td>24～1%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 10px;"></td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 10px;"></td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 10px;"></td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 10px;"></td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 10px;"></td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 10px;"></td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 10px;"></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> </div> <p>3. 本件は経営者の志を調査するものです。可能な限り経営者自らお答え下さい。</p>	100%	99～75%	75～51%	50%	49～25%	24～1%	0%								7	6	5	4	3	2	1
100%	99～75%	75～51%	50%	49～25%	24～1%	0%															
7	6	5	4	3	2	1															

(1) 貴社が企業経営で最も重点をおいていることを3つ以内でお答え下さい。

- ①売上の拡大
- ②収益の向上
- ③株主への利益還元
- ④顧客価値の充足、顧客へのサービス
- ⑤従業員の満足、資質の向上
- ⑥企業倫理の向上
- ⑦技術開発力の向上
- ⑧品質の向上
- ⑨環境保全
- ⑩メセナ活動
- ⑪その他 ( )

(2) 貴社の企業倫理の基本的な考え方に最も近いものをお答え下さい。

- ①法令遵守のレベル
- ②法令の範囲よりレベルの高い倫理行動
- ③②を基盤の上に実施する社会貢献

④その他（ ）

(3) 貴社の企業理念の徹底方法について全てお答え下さい。(複数回答可)

- ①社訓
- ②社長談話
- ③行動基準 (コンプライアンスガイドラインなど)
- ④研修
- ⑤従業員との直接対話
- ⑥その他（ ）

(4) 社外取締役機能について、最も近いものをお答え下さい。

- ①社外取締役を取り入れるべきである。
- ②社外取締役や社外監査役以外の第3者機関 (例えばアドバイザリーボード) を設けるほうが有効である。
- ③社内の取締役が有効かつ十分に機能するので社外取締役は必要ない。
- ④その他（ ）

(5) 貴社のコーポレートガバナンス原則についてお答え下さい。

- ①作成し、開示している。
- ②作成しているが、開示していない。
- ③作成していないが、暗黙の了解となっている。
- ④作成していない。

(6) 貴社の社外取締役 (社外監査役) や第3者機関の意見を経営にどのように反映しているかお答え下さい。

- ①全てを反映している。
- ②反映しているが、諸事情により反映できないものもある。
- ③反映しているが、必要ないものは反映していない。
- ④反映していない。
- ⑤当社では社外取締役 (社外監査役) や第3者機関をおいていない。

(7) 貴社は倫理委員会を設置についてお答え下さい。

- ①設けている。
  - ②設けていない。
- ※①と回答した方は (8) にお答え下さい。②と回答した方は (11) へお進み下さい。

(8) 貴社の倫理委員会の構成メンバーについて全てお答え下さい。(複数回答可)

- ①経営トップ
- ②担当役員
- ③企業倫理担当部署
- ④外部の有識者

⑤その他 ( )

(9) 貴社の倫理委員会開催頻度についてお答え下さい。

- ①定期的に開催している。
- ②問題が生じた時に開催している。
- ③随時開催している。
- ④開催していない。

※④と回答された方は(11)にお進み下さい。

(10) 倫理委員会の開催時間についてお答え下さい。

- ①年8時間以上
- ②年4時間以上8時間未満
- ③年2時間以上4時間未満
- ④年1時間以上2時間未満
- ⑤年1時間未満

(11) 従業員及び関係会社を対象とした倫理に関する実態(意識)調査の開催についてお答え下さい。

- ①定期的に実施している。
- ②実施したことがある。
- ③実施していない。
- ④その他 ( )

(12) 倫理監査の実施についてお答え下さい。

- ①実施している。
- ②実施していない。
- ③実施予定である。
- ④その他 ( )

(13) 社内ヘルプラインの組織体制についてお答え下さい。

- ①社内の部署で組織化している。
- ②法律事務所や専門機関など第三者機関に委託している。
- ③社内部署と第三者機関で組織化している。
- ④ヘルプラインを設置していない。

(14) 貴社の社内ヘルプラインの現状についてお答え下さい。(複数回答可)

- ①従業員に定着している。
- ②従業員に定着しつつある。
- ③従業員に定着していない。
- ④従業員へ活用を奨励している。
- ⑤従業員へ特に活用を奨励していない。

(15) 企業倫理に関する研修の対象と頻度について、当てはまる欄に○をお付け下さい。

	半年に1回程度	1年に1回程度	2～3年に1回程度	随時	未実施
役員層					
管理職層					
一般社員層					
非正規社員					

(16) 国内のグループ企業の企業倫理の取り組みについてお答え下さい。

- ①全てのグループ企業が貴社と同様の趣旨の活動を実施している。
- ②一部のグループ企業が貴社と同様の趣旨の活動を実施している。
- ③グループ企業がそれぞれ独自の活動を実施している。
- ④行っていない。

⑤その他 ( )

※グループ企業とは連結決算対象の企業とします。

(17) 海外のグループ企業の企業倫理の取り組みについてお答え下さい。

- ①全てのグループ企業が貴社と同様の趣旨の活動を実施している。
- ②一部のグループ企業が貴社と同様の趣旨の活動を実施している。
- ③グループ企業がそれぞれ独自の活動を実施している。
- ④行っていない。

⑤その他 ( )

(18) 貴社が国内で提供しているサービスや商品の安全基準についてお答え下さい。

- ①法令のレベルで設けている。
- ②同業他社程度の基準で設けている。
- ③同業他社を上回るレベルで設けている。
- ④世界最高の基準で設けている。

⑤その他 ( )

(19) 貴社が海外で提供しているサービスや商品の安全基準についてお答え下さい。

- ①進出国の法令のレベルで設けている。
- ②進出国の同業他社程度の基準で設けている。
- ③提供している国や地域の基準を上回るレベルで設けている。
- ④日本国内最高レベルの基準で設けている。
- ⑤世界最高の基準で設けている。

⑥その他 ( )

(20) 贈答・接待の供与・收受に関する貴社の取り組みについてお答え下さい。(対公務員は除く)

- ①一切禁止している。
- ②倫理綱領で規定されている範囲内で行っている。
- ③特に決まりは無く、現場の判断に任せている。
- ④その他 ( )

(21) 消費者（エンドユーザー）からの意見への対応についてお答え下さい。

- ①全面的に優先して対応している。
- ②対応しているが、諸事情により対応できないものもある。
- ③対応しているが、必要ないものは対応していない。
- ④対応していない。
- ⑤当社では消費者（エンドユーザー）から意見をもらう仕組みがない。

(22) 発注者として優越的地位の乱用を防止する貴社の取り組みと現状について、当てはまる欄に○をお付け下さい。

	過去5年間問題が発生していない。	過去5年間問題が発生した。	把握していない。
防止する仕組みがある。			
防止する仕組みがない。			

(23) 知的財産権の侵害を防止する貴社の取り組みと現状について、当てはまる欄に○をお付け下さい。

	過去5年間問題が発生していない。	過去5年間問題が発生した。	把握していない。
防止する仕組みがある。			
防止する仕組みがない。			

(24) 業界平均給与と比較した貴社の給与水準についてお答え下さい。

- ①平均より高い。
- ②平均と同水準である。
- ③平均より低い。

(25) 貴社の従業員間の給与水準格差の現状と今後について、当てはまる欄に○をお付け下さい。

	今後格差を拡大していきたい。	今後格差を縮小していきたい。	今後格差を維持していきたい。
現在の給与水準格差は大きい。			
現在の給与水準格差は小さい。			



(31) 貴社の労使協議制についてお答え下さい。

- ①労使協議制は良い制度であり、活用している。
- ②労使協議制は良い制度だが、活用していない。
- ③労使協議制は役に立たない。
- ④組合がない。
- ⑤その他 ( )

(32) インサイダー取引防止の対策について当てはまる欄に○をお付け下さい。

	過去5年間問題が発生していない。	過去5年間問題が発生した。	把握していない。
規制や研修実施など防止する仕組みがある。			
規制や研修実施など防止する仕組みがない。			

(33) 貴社の環境問題に関する取り組みについて当てはまる欄に○をお付け下さい。

	環境問題に関する方針と数値目標を立てている。	環境問題に関する方針か数値目標を立てている。	環境問題に関する方針や数値目標は立てていない。
重点課題として取り組んでいる			
他社と同程度以上に取り組んでいる			
他社と同程度に取り組んでいる			

(34) 環境問題について貴社が具体的に取り組んでいるものを全てお答え下さい。

(複数回答可)

- ①省エネ・省資源
- ②リサイクル
- ③温暖化ガス排出規制
- ④排出権取引
- ⑤技術開発による環境対策
- ⑥モーダルシフト
- ⑦グリーン購入
- ⑧緑化事業
- ⑨クリーン開発メカニズムの活用
- ⑩有害物質除去
- ⑪生物多様性保全
- ⑫廃棄物対策
- ⑬その他 ( )

(35) メセナやボランティア活動など本業と直接関係の無い社会貢献活動のお考えについてお答え下さい。

- ①業績に関係なく取り組んでいく。
- ②業績の変動を考慮しながら取り組んでいく。
- ③業績に関係なく取り組まない。
- ④その他 ( )

(36) ファシリテーションペイメントについて貴社の取り組みをお答え下さい。

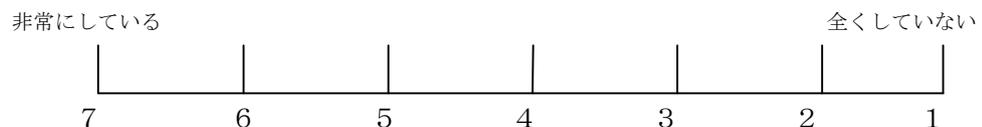
※ファシリテーションペイメントとはビザ、通関、税金還付などの手続きを円滑に進めるために少額の金銭を支払うことを意味します。

- ①すべて禁止している
- ②生命・身体・財産を守るためなどの必要最小限については基準を設け、容認している。
- ③海外の商慣習に応じた基準を設け、容認している。
- ④ルール化はしていないが、海外の商慣習に応じて容認している。
- ⑤先進企業の対応に倣っている。
- ⑥この問題を考えたことがない。
- ⑦その他 ( )

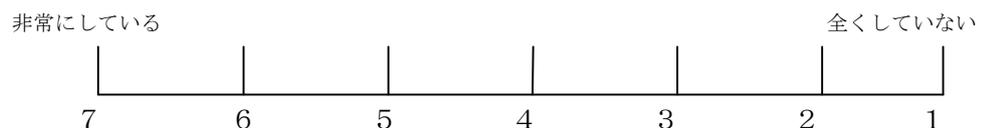
(37) 倫理委員会で決められた内容や倫理綱領の改訂内容は実際のマネジメントに反映されていますか。



(38) 倫理調査や倫理監査で浮かび上がった課題は実際のマネジメントに反映されていますか。



(39) 社内ヘルプライン等で発見した課題は実際のマネジメントに反映されていますか。

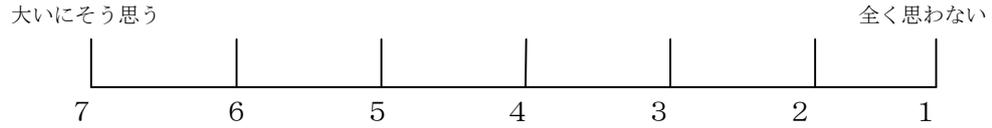


(40) 研修プログラムは貴社の倫理的課題に応じて改善されていますか。

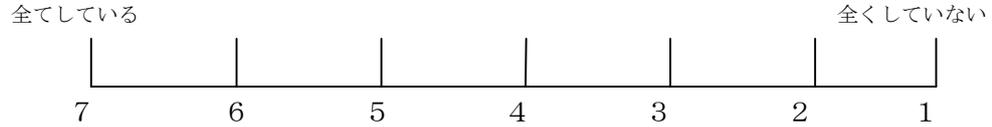


7 6 5 4 3 2 1

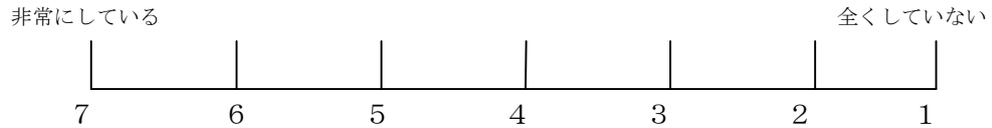
(4 1) 経営トップが企業倫理について従業員（組合員）と直接対話することは、倫理的  
問題点の解決にとって有効だと思いますか。



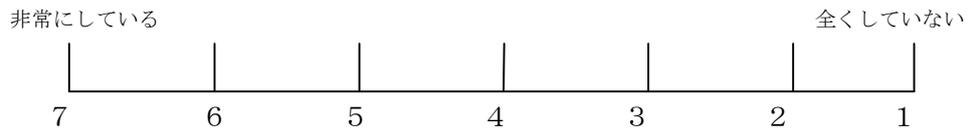
(4 2) 貴社では監査内容について、経営トップが実質的に把握していますか。



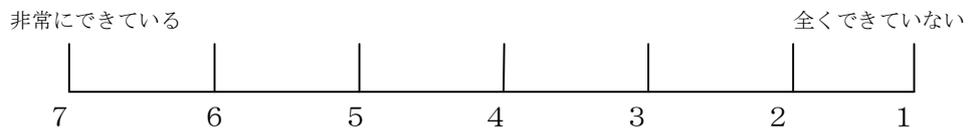
(4 3) 貴社に対するCSRランキングの評価を意識されていますか。



(4 4) 貴社に対するSRI（社会的責任投資）の評価を意識されていますか。



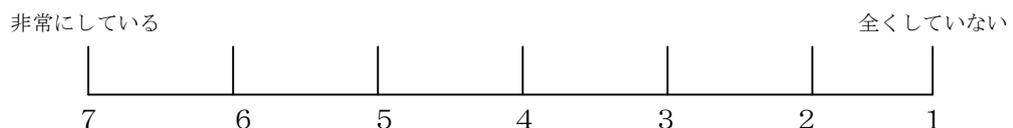
(4 5) 貴社ではリスクマネジメント・ハラスメント・コンプライアンス・企業倫理・  
CSRなどをガバナンスに反映・統合していますか。



(4 6) 貴社にとって不都合な情報であっても積極的に外部に開示していますか。



(4 7) 貴社では、資材などの調達企業を決定する際に、グリーン調達を行っていますか。



(4 8) 海外などに進出した際、本社同様社会的責任を果たすよう指導していますか。



## 《経営者の志》

(49) 不祥事起きる主な原因は何だと思いますか。3つ以内でお答え下さい。

1.

2.

3.

(50) 企業倫理を推進する上であなたがトップとして大切に考えていることは何ですか。3つ以内でお答え下さい。

1.

2.

3.

(51) 企業は誰のために存在するとお考えですか。

(52) 経営者の志と倫理についてあなたはどのようにお考えですか。



(53) その他ご意見がございましたらご記入下さい。



以上

●ご協力誠にありがとうございました。本調査の報告書をご希望の場合はご送付先等を以下にご記入下さい。調査がまとまり次第お送り申し上げます。

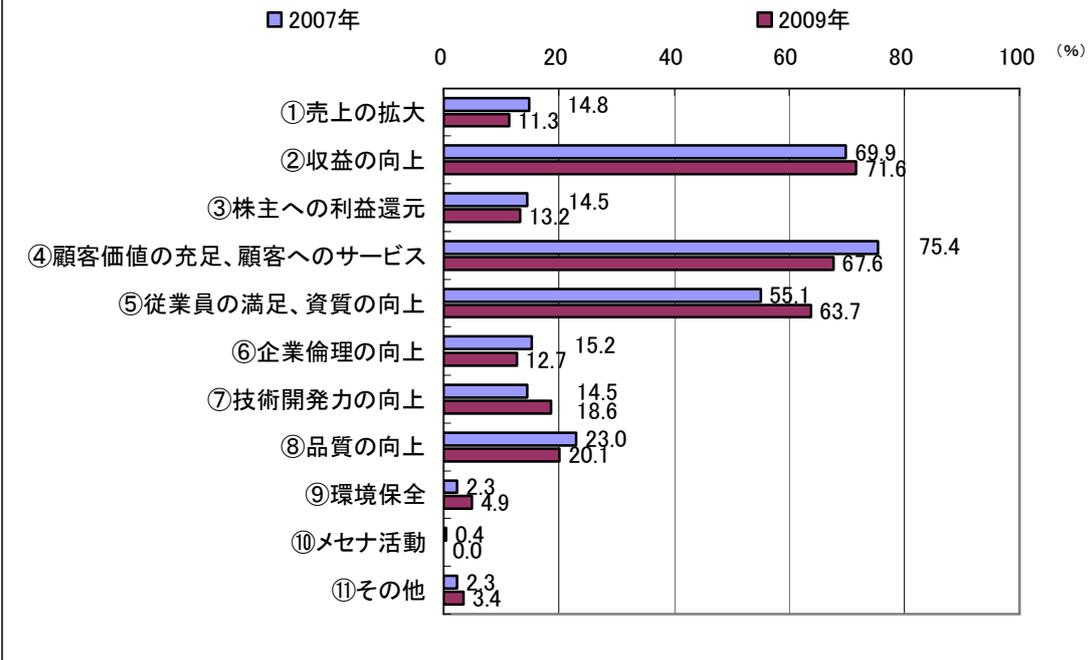
御社名：

ご送付先：〒

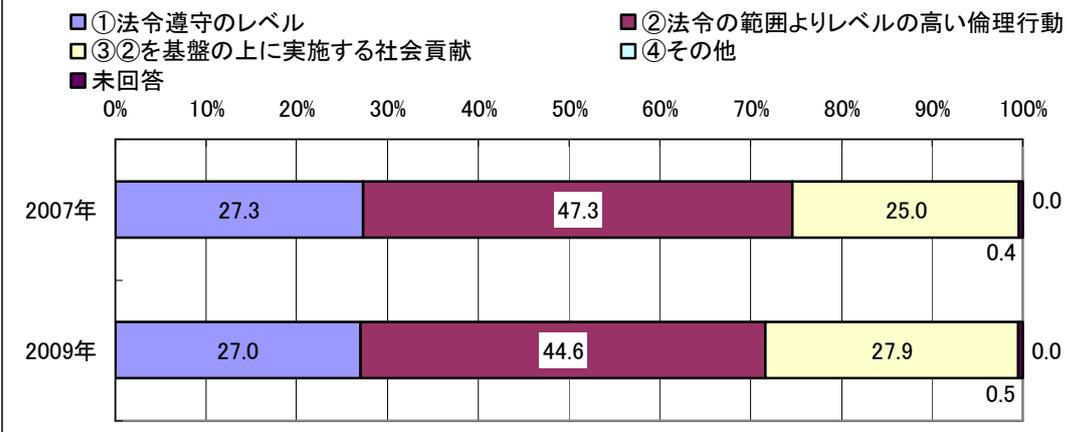
お名前：

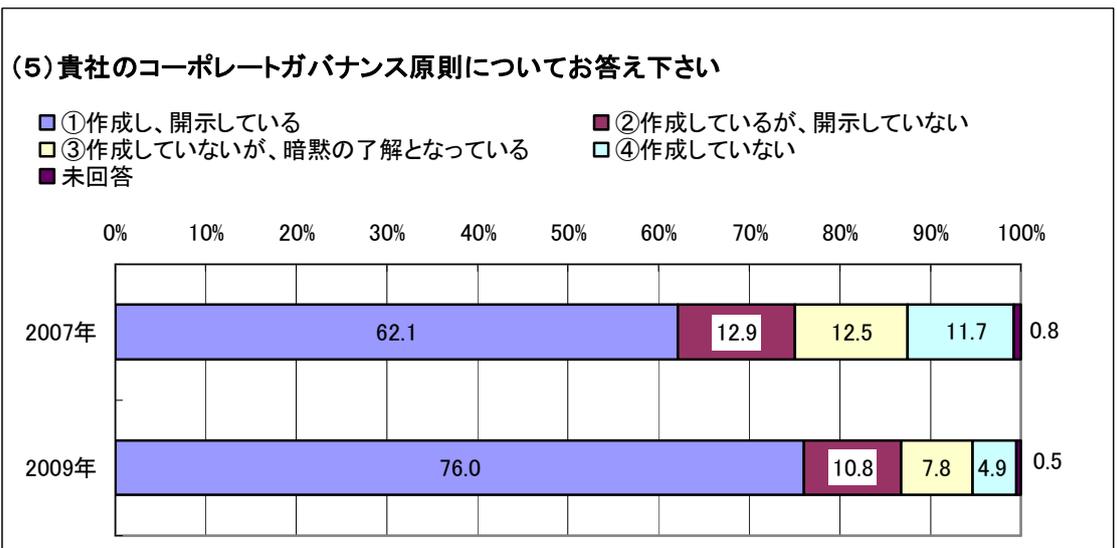
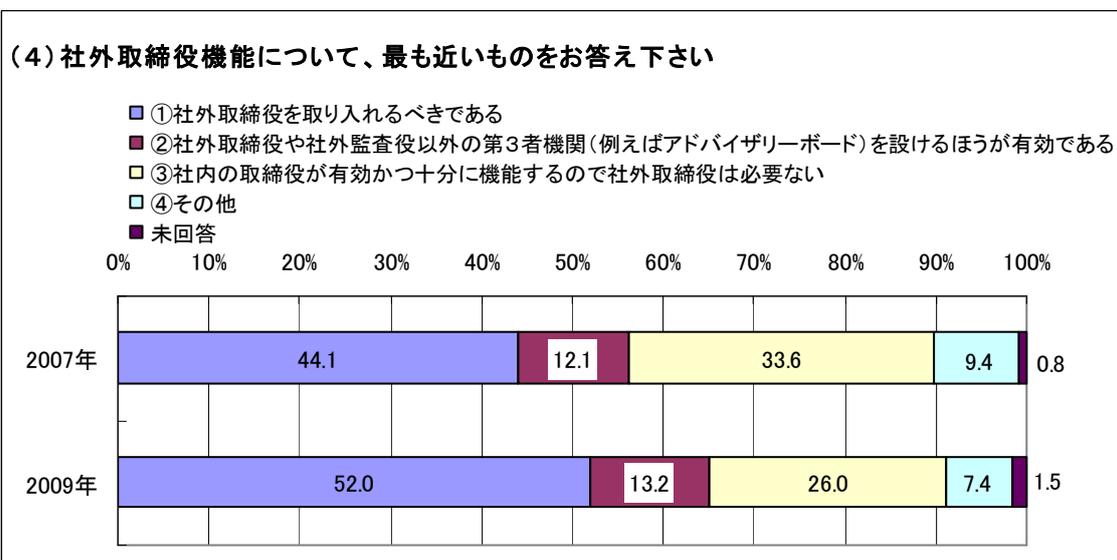
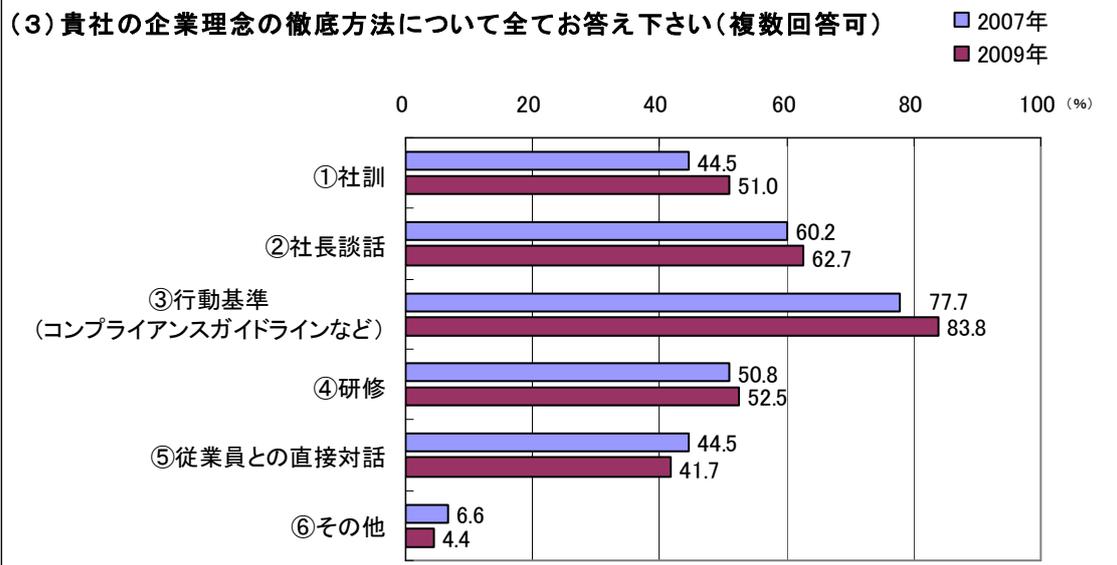
## 【調査結果】

### (1) 貴社が企業経営で最も重点をおいていることを3つ以内でお答え下さい



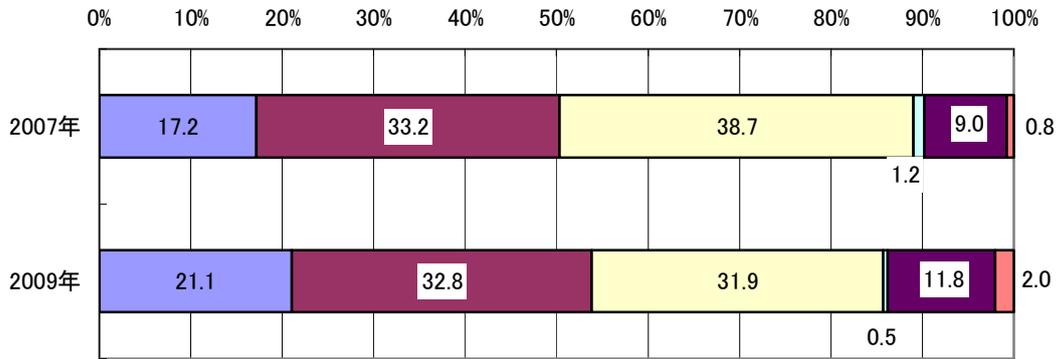
### (2) 貴社の企業倫理の基本的な考え方に最も近いものをお答え下さい





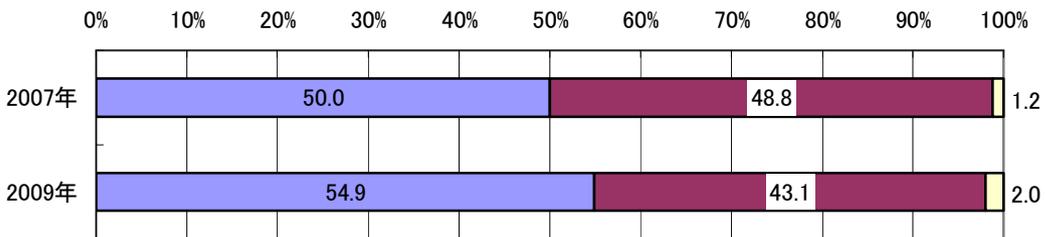
(6) 貴社の社外取締役(社外監査役)や第3者機関の意見を経営にどのように反映しているかお答え下さい

- ①全てを反映している
- ②反映しているが、諸事情により反映できないものもある
- ③反映しているが、必要ないものは反映していない
- ④反映していない
- ⑤当社では社外取締役(社外監査役)や第3者機関をおいていない
- 未回答



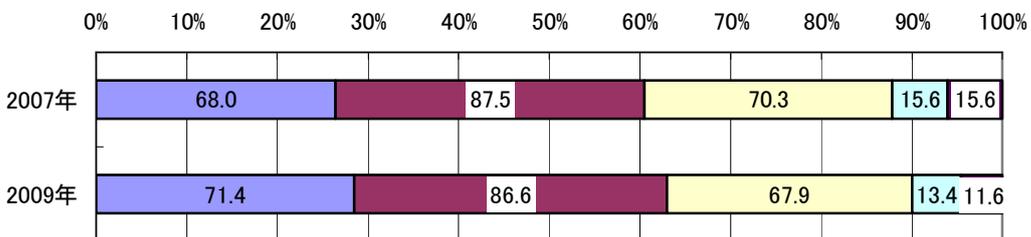
(7) 貴社は倫理委員会を設置についてお答え下さい

- ①設けている
- ②設けていない→(11)へ
- 未回答

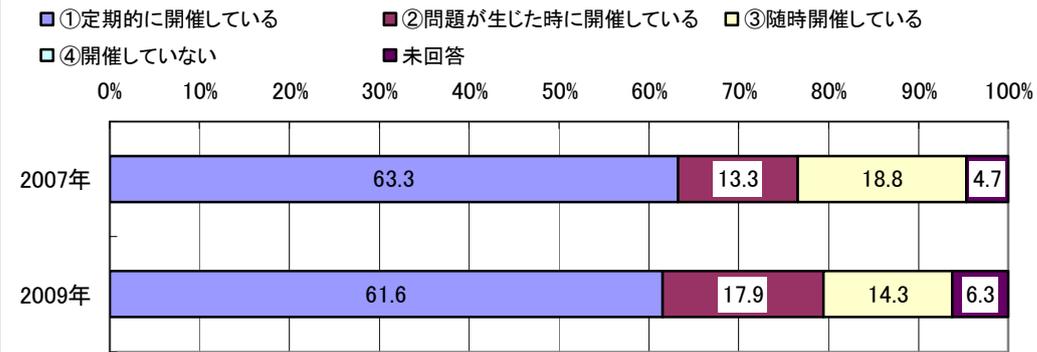


(8) 貴社の倫理委員会の構成メンバーについて全てお答え下さい(複数回答可)  
※問7で①と回答した方のみ対象

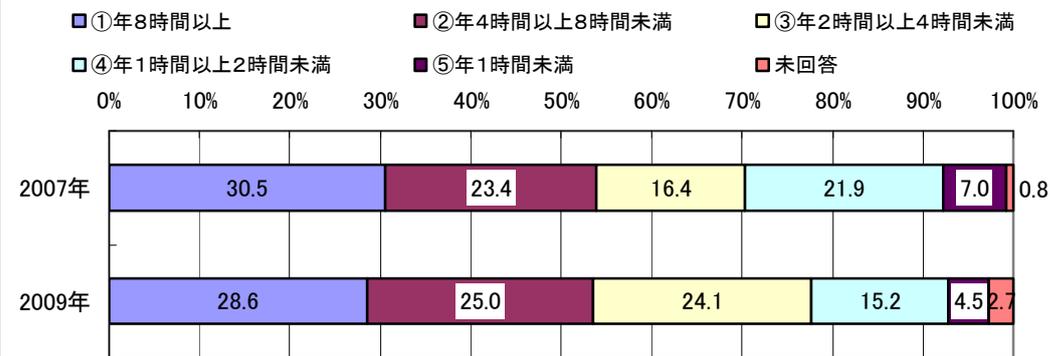
- ①経営トップ
- ②担当役員
- ③企業倫理担当部署
- ④外部の有識者
- ⑤その他



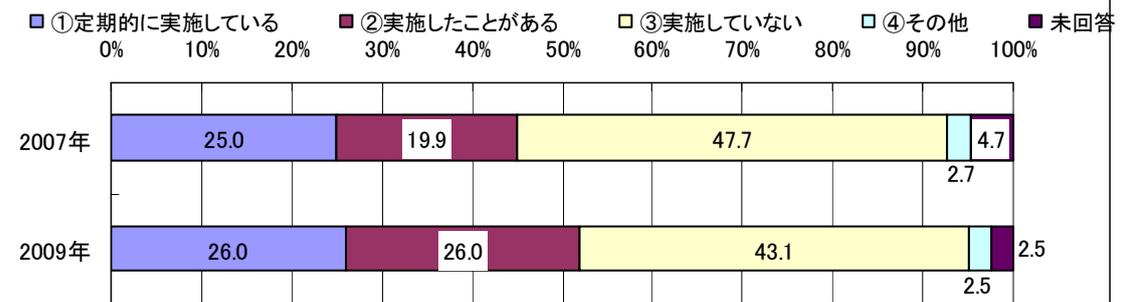
(9) 貴社の倫理委員会開催頻度についてお答え下さい(問7で①と回答した方のみ対象)



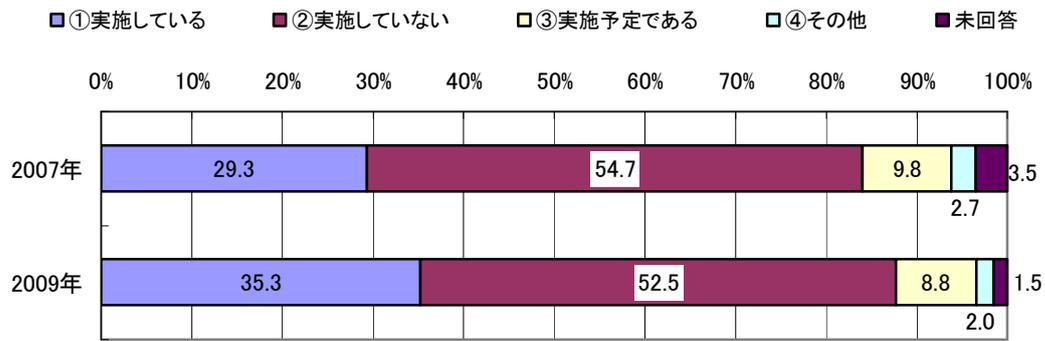
(10) 倫理委員会の開催時間についてお答え下さい(問7で①と回答した方のみ対象)



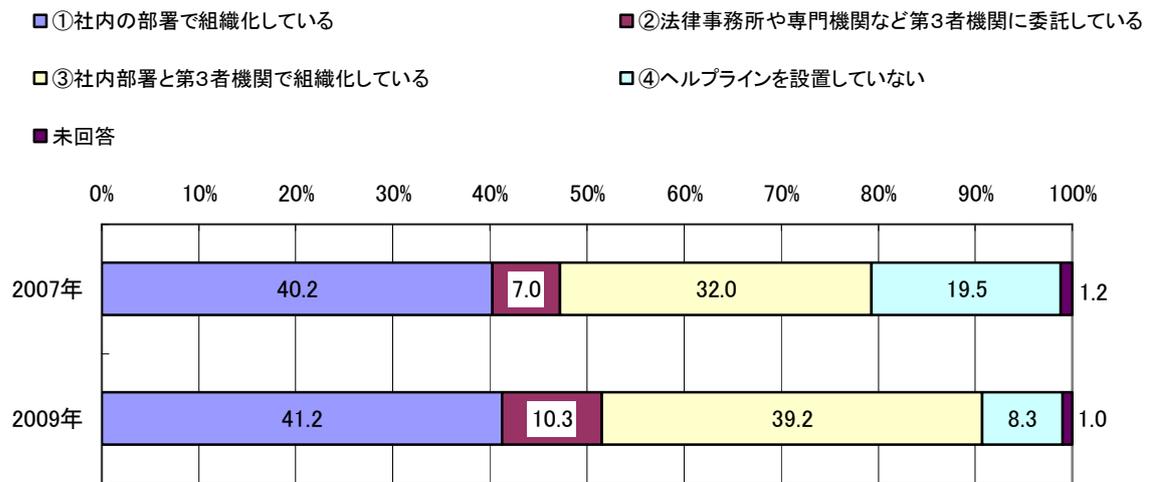
(11) 従業員及び関係会社を対象とした倫理に関する実態(意識)調査の開催についてお答え下さい

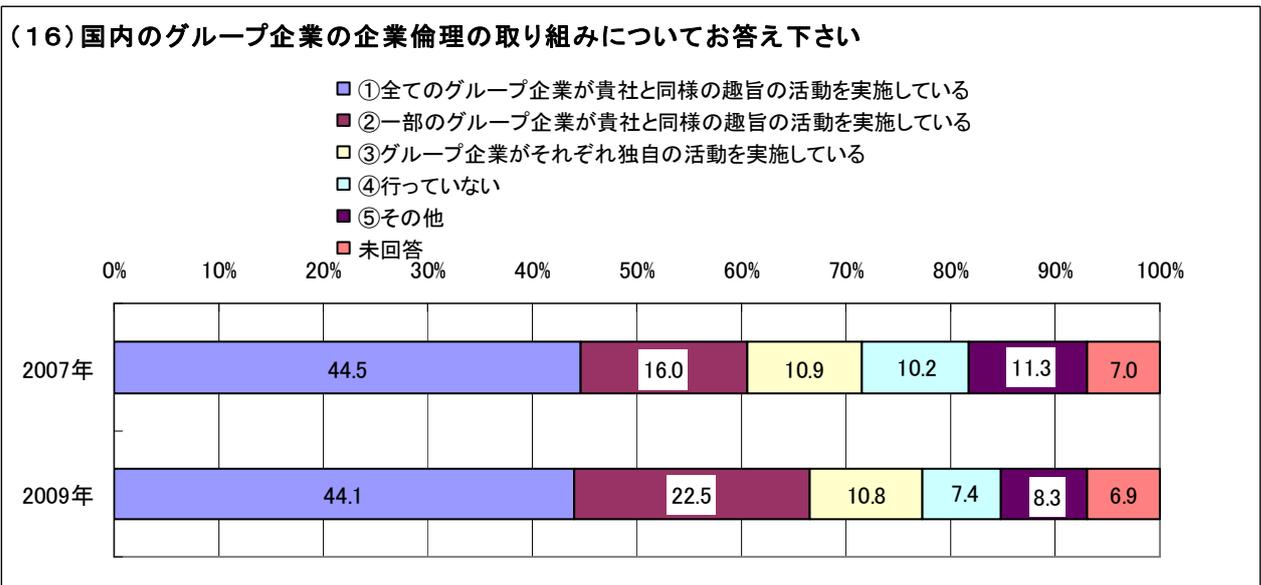
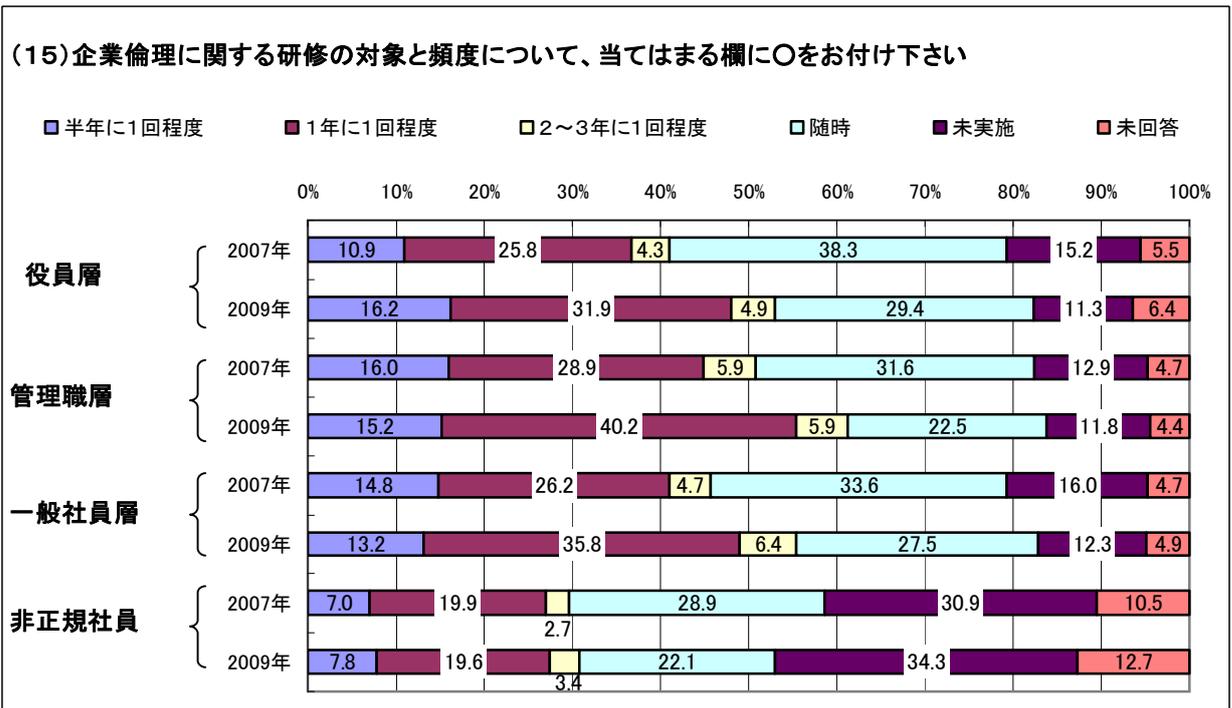
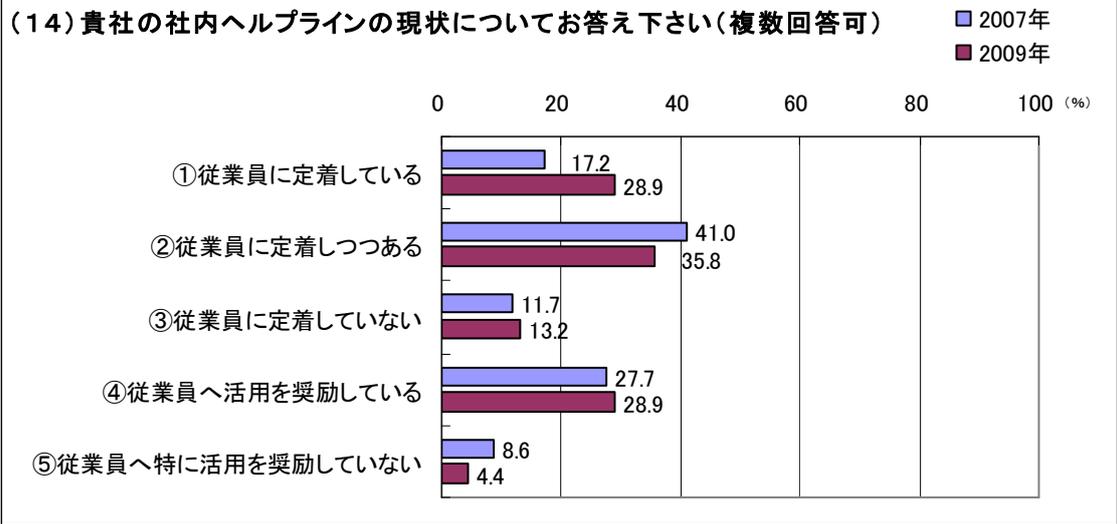


(12) 倫理監査の実施についてお答え下さい



(13) 社内ヘルプラインの組織体制についてお答え下さい





(17) 海外のグループ企業の企業倫理の取り組みについてお答え下さい

- ①全てのグループ企業が貴社と同様の趣旨の活動を実施している
- ②一部のグループ企業が貴社と同様の趣旨の活動を実施している
- ③グループ企業がそれぞれ独自の活動を実施している
- ④行っていない
- ⑤その他
- 未回答



(18) 貴社が国内で提供しているサービスや商品の安全基準についてお答え下さい

- ①法令のレベルで設けている
- ②同業他社程度の基準で設けている
- ③同業他社を上回るレベルで設けている
- ④世界最高の基準で設けている
- ⑤その他
- 未回答



(19) 貴社が海外で提供しているサービスや商品の安全基準についてお答え下さい

- ①進出国の法令のレベルで設けている
- ②進出国の同業他社程度の基準で設けている
- ③提供している国や地域の基準を上回るレベルで設けている
- ④日本国内最高レベルの基準で設けている
- ⑤世界最高の基準で設けている
- ⑥その他
- 未回答



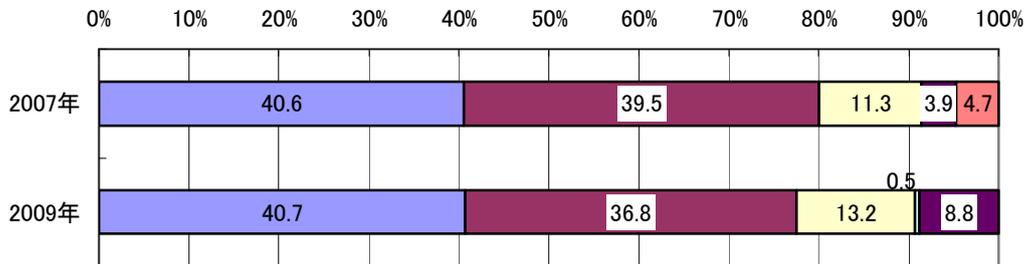
(20) 贈答・接待の供与・收受に関する貴社の取り組みについてお答え下さい  
(対公務員は除く)

- ①一切禁止している
- ②倫理綱領で規定されている範囲内で行っている
- ③特に決まりは無く、現場の判断に任せている
- ④その他
- 未回答



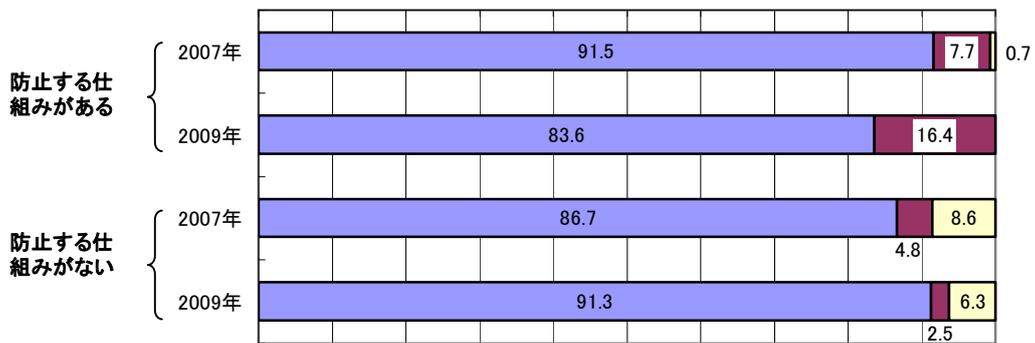
(21) 消費者(エンドユーザー)からの意見への対応についてお答え下さい

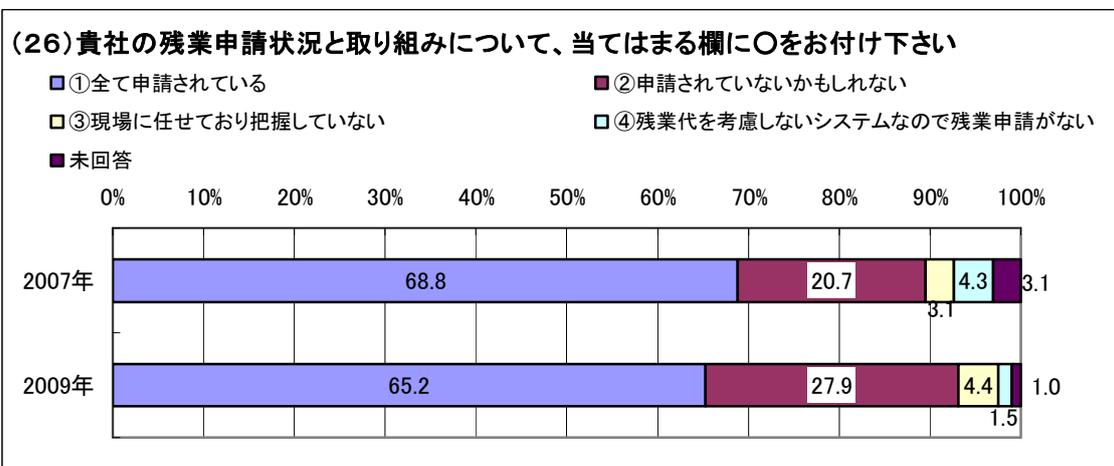
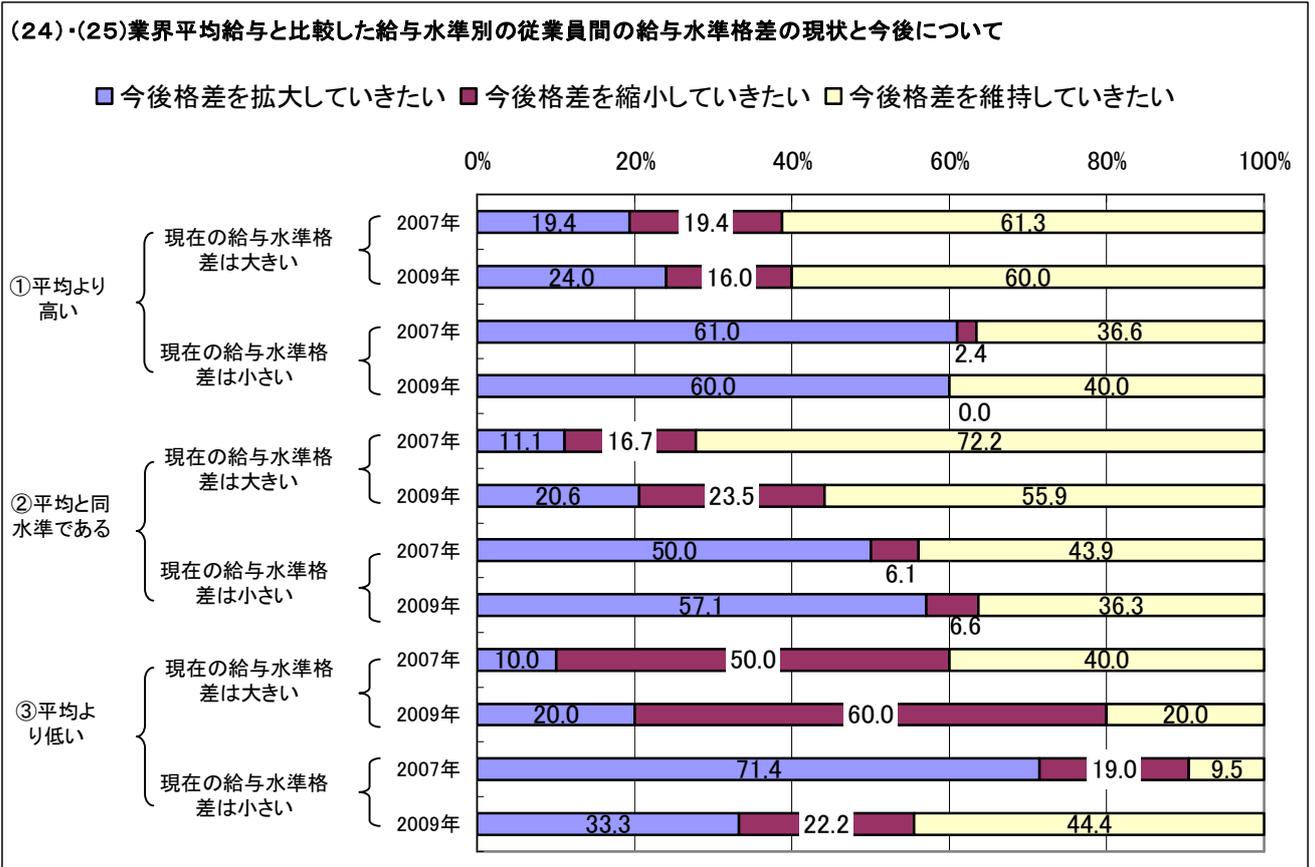
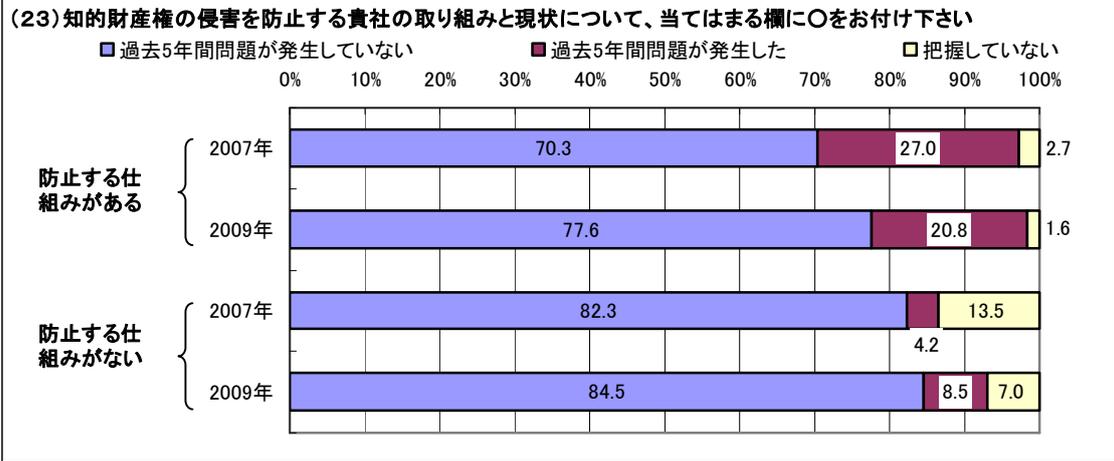
- ①全面的に優先して対応している
- ②対応しているが、諸事情により対応できないものもある
- ③対応しているが、必要ないものは対応していない
- ④対応していない
- ⑤当社では消費者(エンドユーザー)から意見をもらう仕組みがない
- 未回答



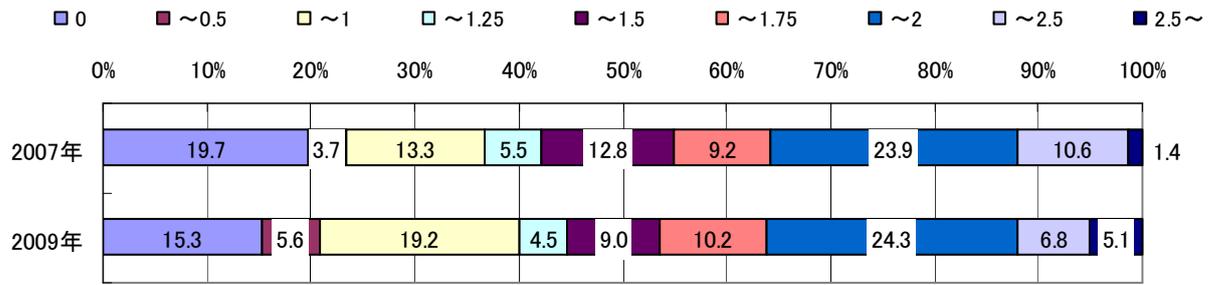
(22) 発注者として優越的地位の乱用を防止する貴社の取り組みと現状について、当てはまる欄に○をお付け下さい

- 過去5年間問題が発生していない
- 過去5年間問題が発生した
- 把握していない

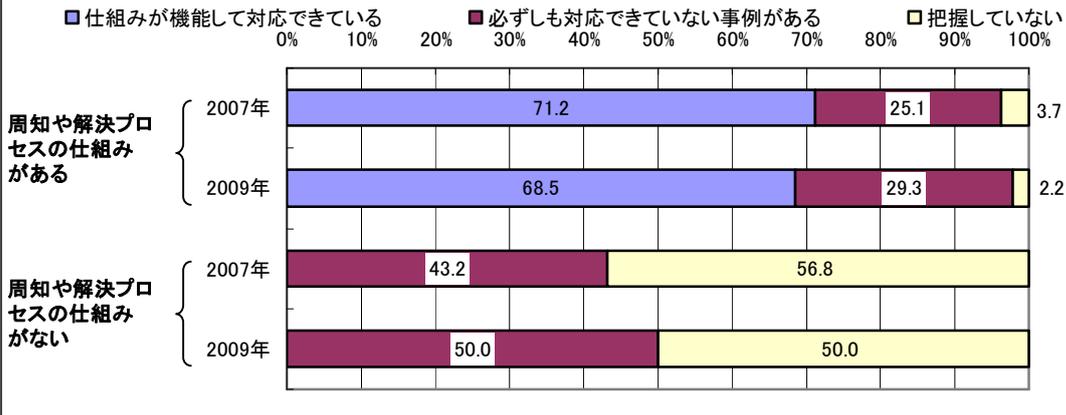




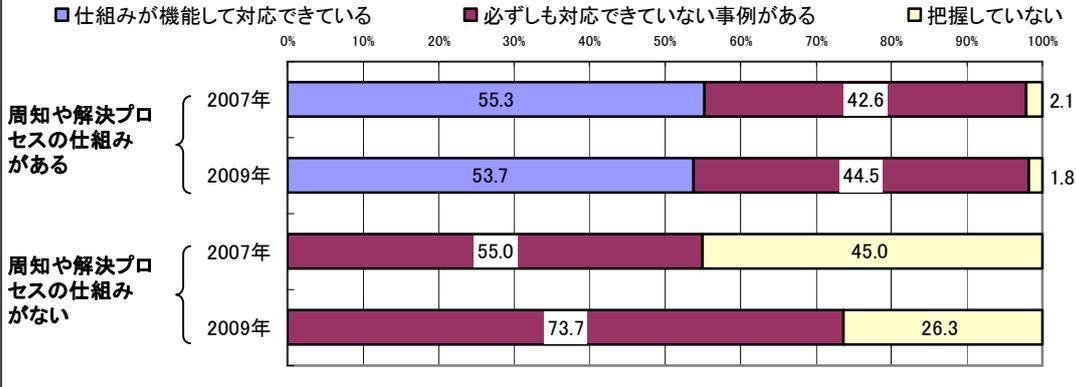
(27) 障害者を含む社会的弱者の雇用の割合についてお答え下さい



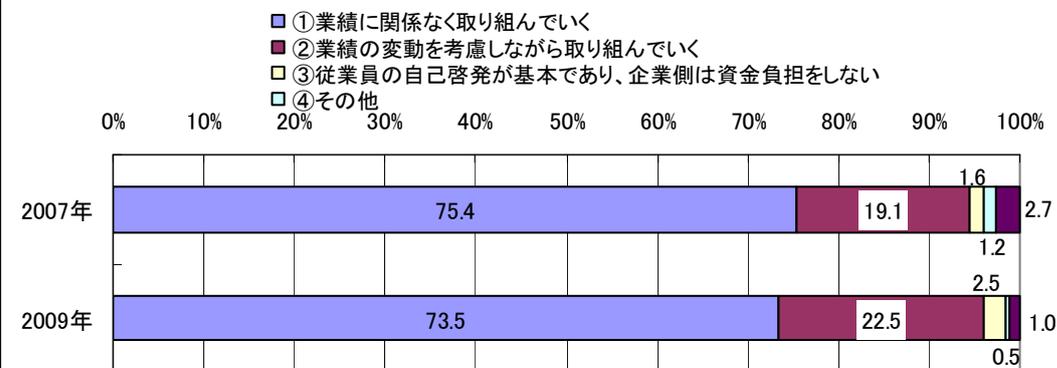
(28) ハラスメント(パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等)の仕組みと現状について、当てはまる欄に○をお付け下さい



(29) メンタルヘルスの仕組みと現状について当てはまる欄に○をお付け下さい

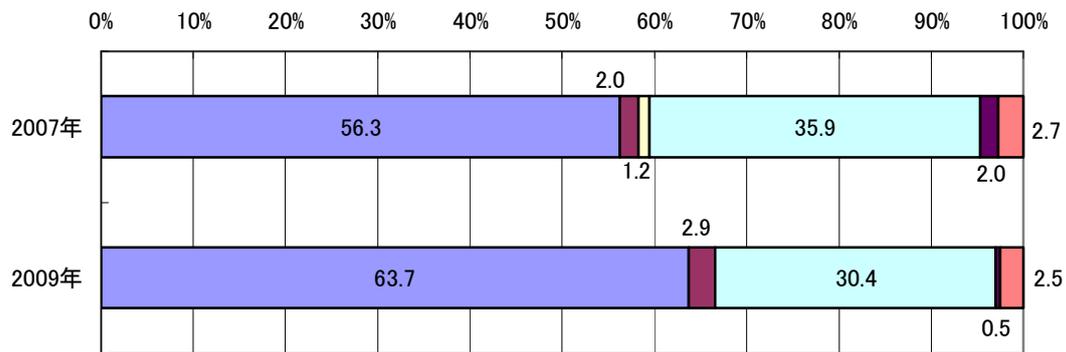


(30) 人材育成に対するお考えについてお答え下さい



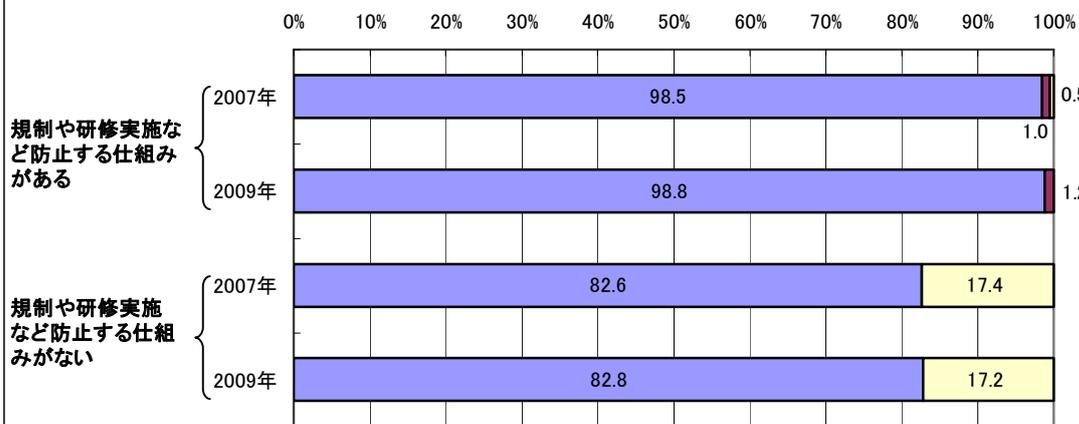
(31) 貴社の労使協議制についてお答え下さい

- ① 労使協議制は良い制度であり、活用している
- ② 労使協議制は良い制度だが、活用していない
- ③ 労使協議制は役に立たない
- ④ 組合がない
- ⑤ その他
- 未回答



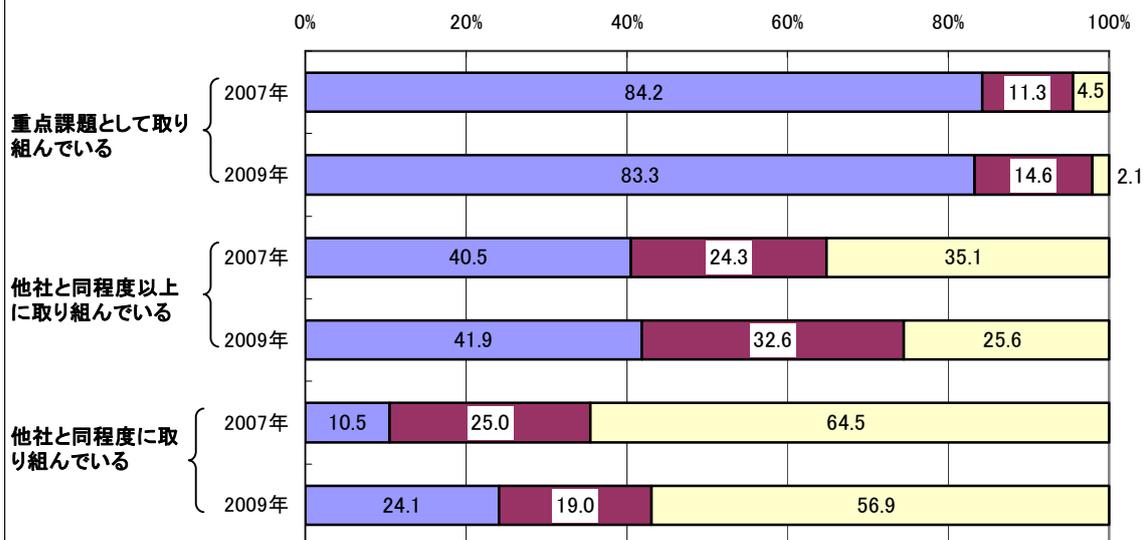
(32) インサイダー取引防止の対策について当てはまる欄に○をお付け下さい

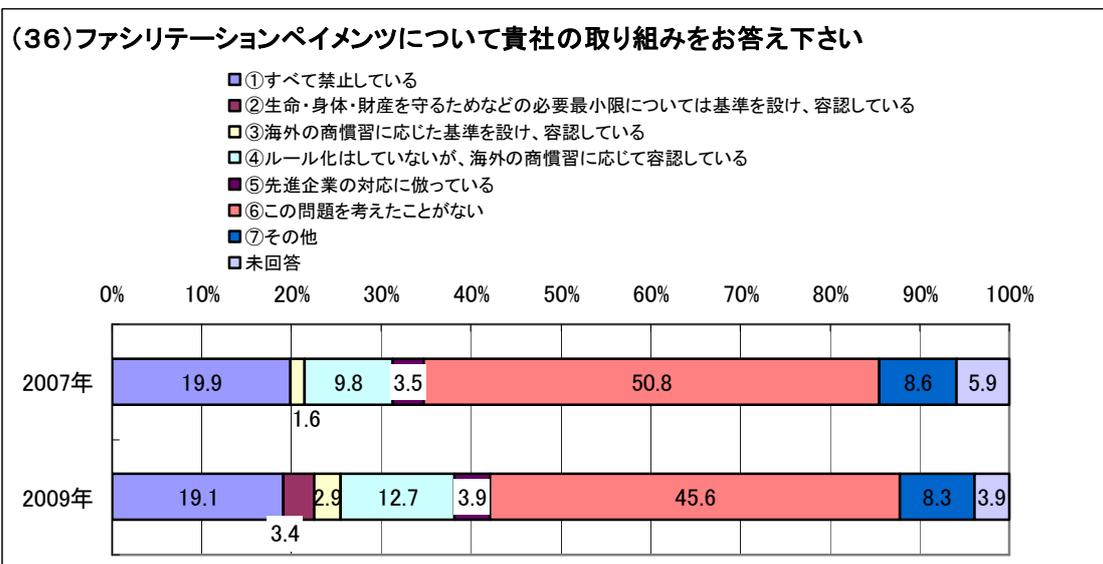
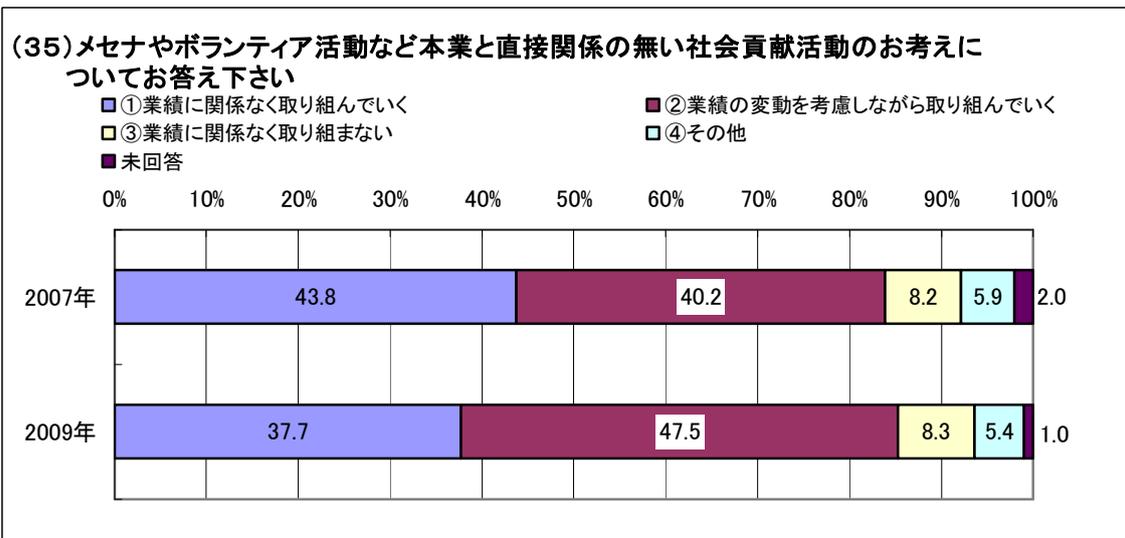
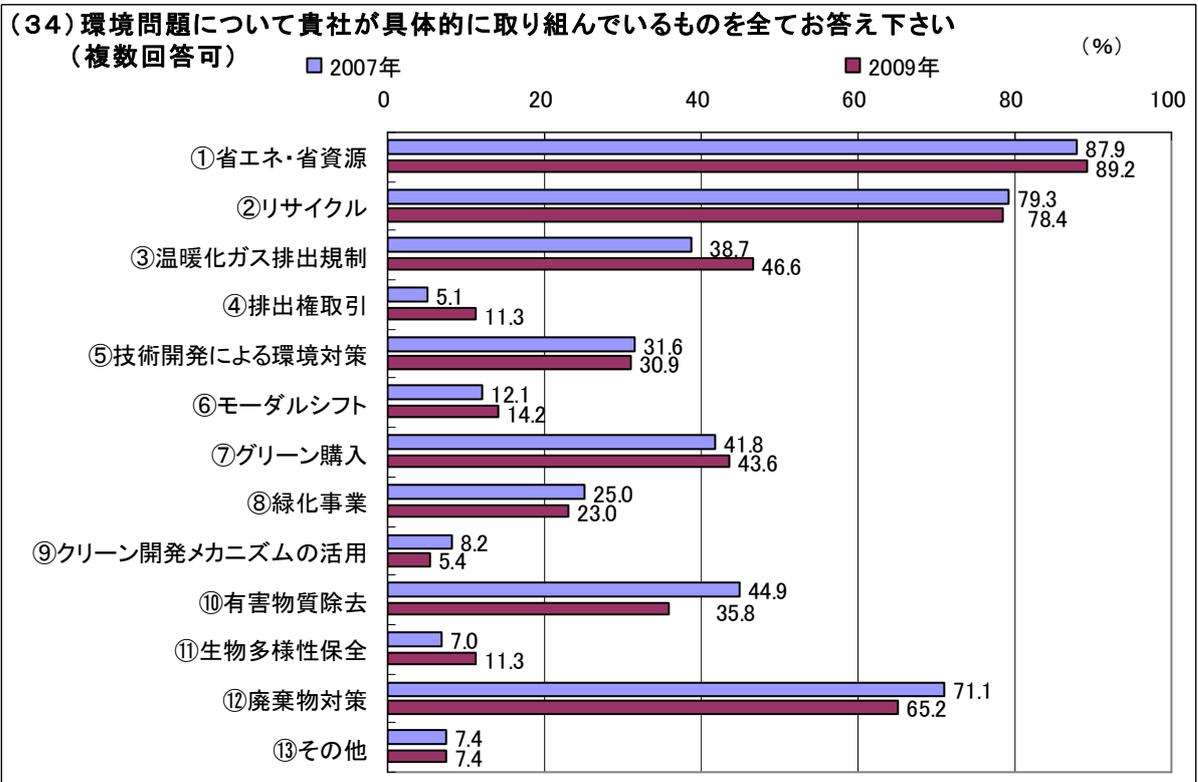
- 過去5年間問題が発生していない
- 過去5年間問題が発生した
- 把握していない



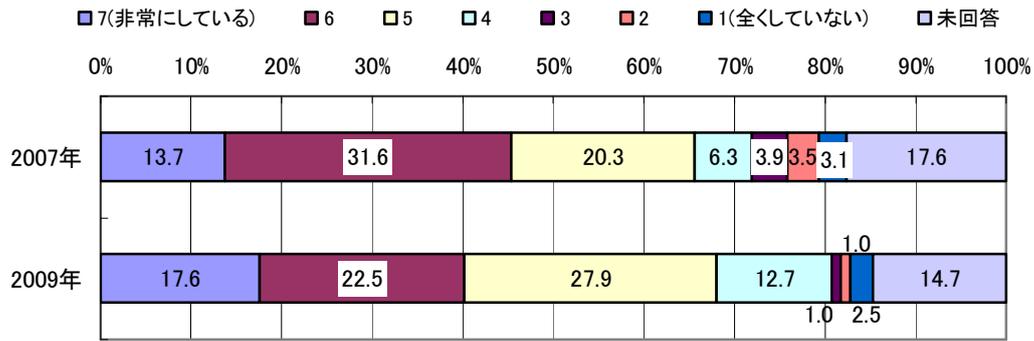
(33) 貴社の環境問題に関する取り組みについて当てはまる欄に○をお付け下さい

- 環境問題に関する方針と数値目標を立てている
- 環境問題に関する方針が数値目標を立てている
- 環境問題に関する方針や数値目標は立てていない

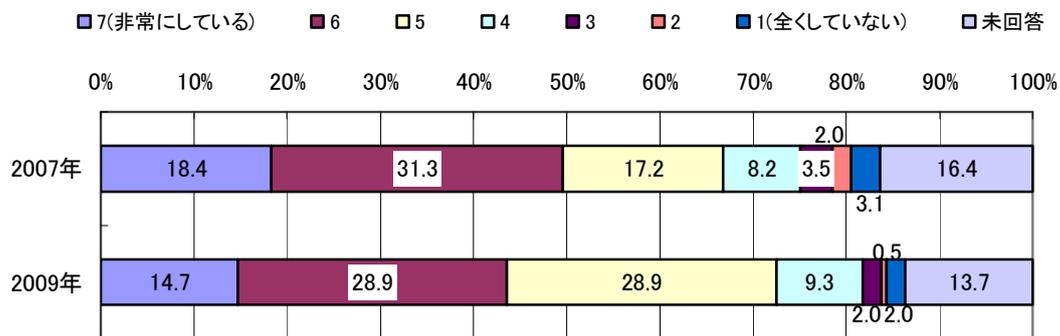




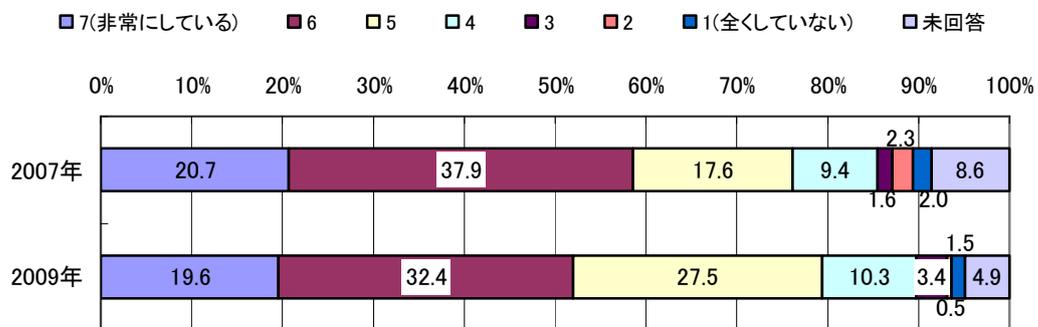
(37) 倫理委員会で決められた内容や倫理綱領の改訂内容は実際のマネジメントに反映されていますか



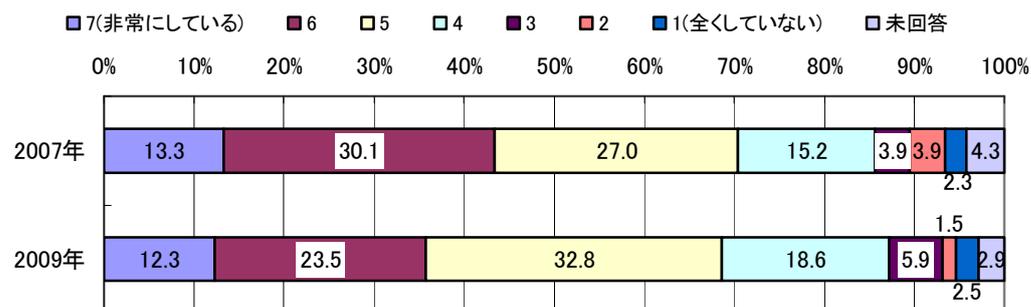
(38) 倫理調査や倫理監査で浮かび上がった課題は実際のマネジメントに反映されていますか

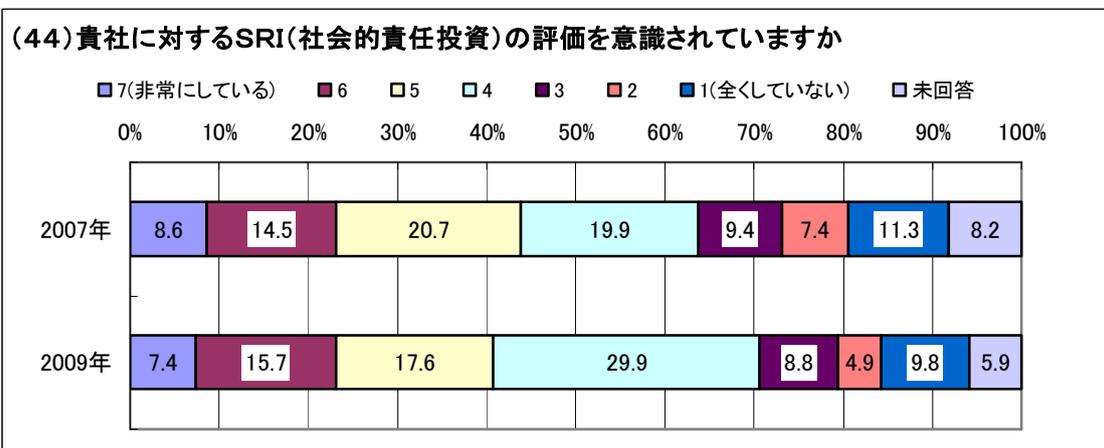
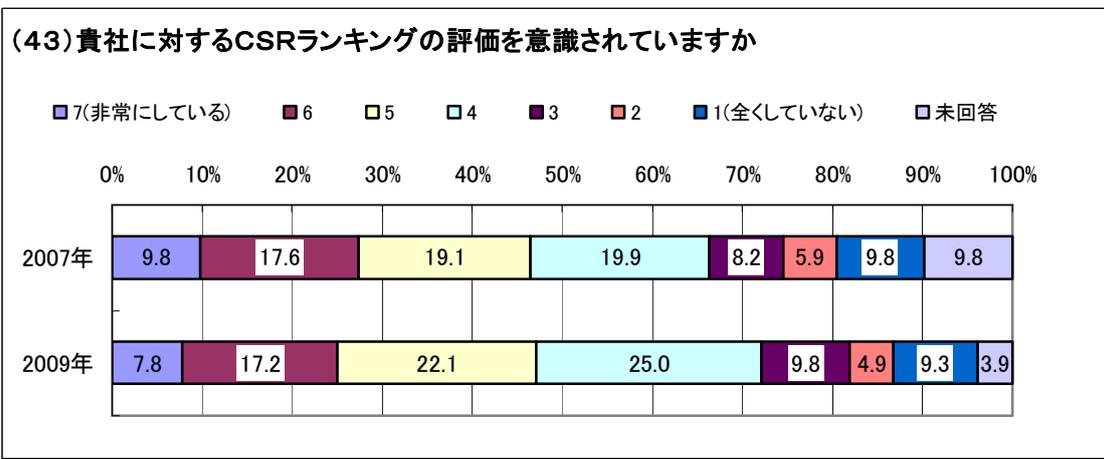
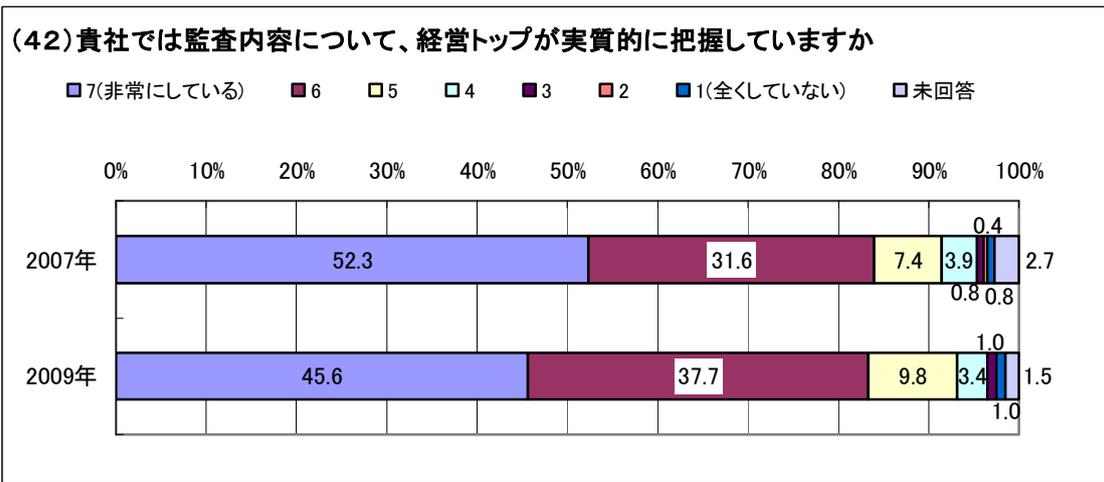
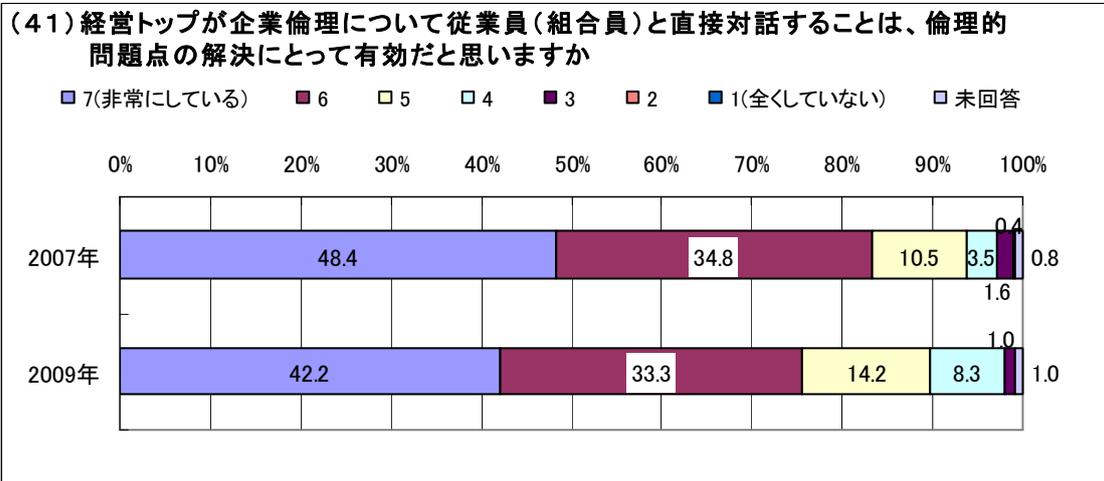


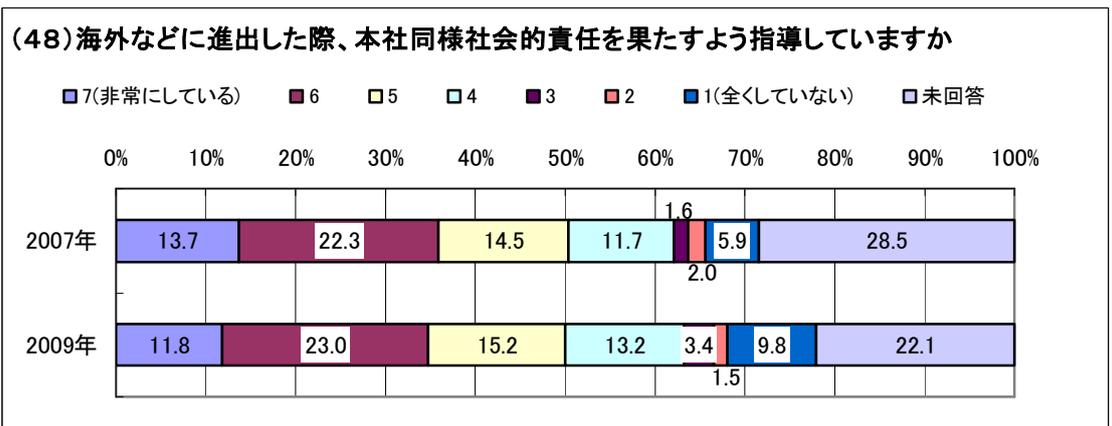
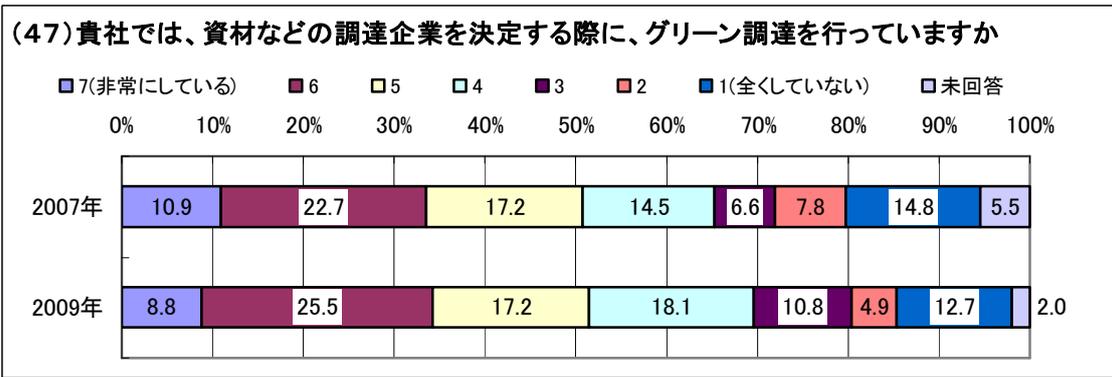
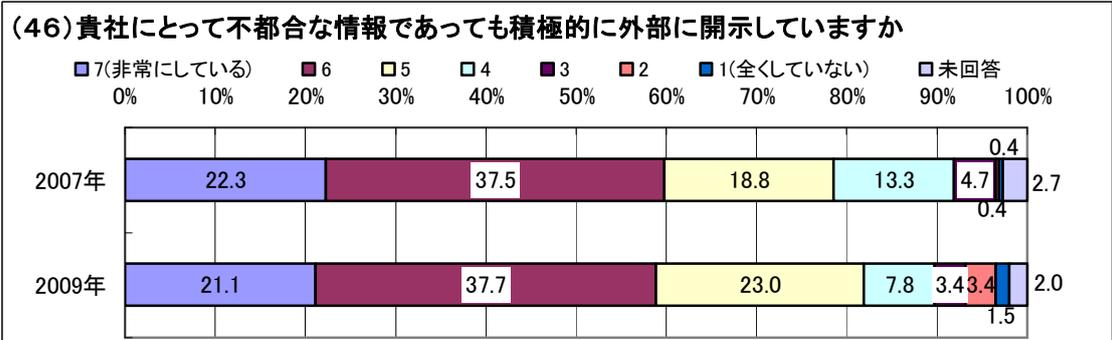
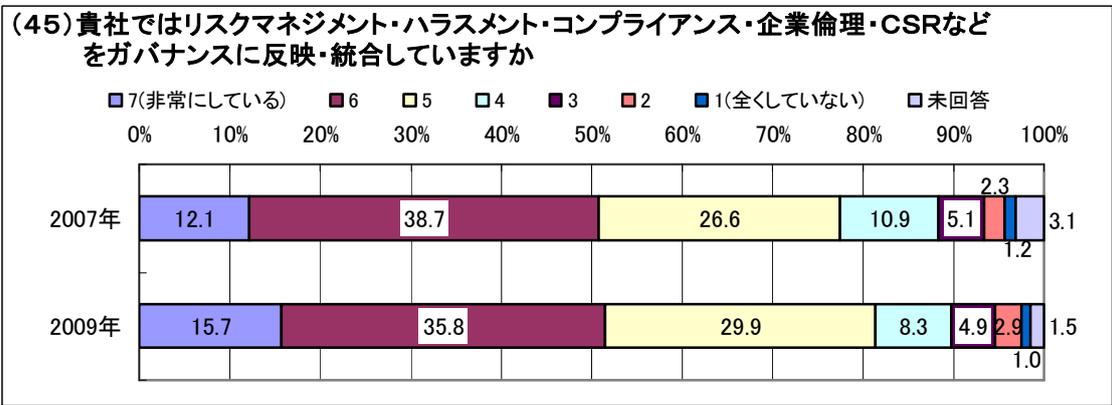
(39) 社内ヘルプライン等で発見した課題は実際のマネジメントに反映されていますか



(40) 研修プログラムは貴社の倫理的課題に応じて改善されていますか







今回、(49)～(53)の設問(記述式)に関しては分類が困難なためここでは結果を省略しました。

## 【参考】2008年度企業倫理に反する主な事例

### (1) 企業組織運営に関するもの

#### ① 貨物コンテナ放置事件

社会保険庁「ねんきん特別便」を含む約12万通の入った貨物コンテナを貨物ヤードに約2ヶ月間放置したままになっていた事件。

### (2) 安全基準に関するもの

#### ① 中国冷凍食品中毒事件

各社が販売、提供していた中国製冷凍食品から、有害物質メラミンや有機リン酸系メタミドホスなどが検出され、健康被害が発生した事件。各社は自主回収を行った。

#### ② 事故米転売事件

国から残留農薬濃度の高い米やカビなどが発生した非食用の事故米を和菓子メーカー、焼酎メーカーなどに食用として転売した事件。

### (3) 競争条件に関するもの

#### ① 特定商取引違反事件

顧客に目的を告げずに呉服や宝飾の展示販売会に勧誘し、商品を購入させたとして、特定商取引法違反で一部業務の停止命令を受けた事件。

### (4) 情報保護に関するもの

#### ① 情報流出事件

約2万5千件の顧客情報が入ったCD-Rとそれを印刷した書類を紛失した事件。

### (5) 労働条件に関するもの

#### ① 名ばかり管理職事件

これまで残業代を支払ってこなかった名ばかり管理職が不払い残業代の支払いを求めた事件。

注1) 企業不祥事内容は事務局が下記を参考に作成

- ・ エフシージー総合研究所「今週の企業事件」

<http://www.fcg-r.co.jp/forum/incident/> (2009/3/26)

注2) 事件の態様については事務局が分類

以上